

2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	49
所管センター	沖縄
分野	その他
研修コース名（日）	映像コンテンツ制作技術
受入人数	2
受入時期	下半期
来日日	2025年10月5日（日）
帰国日	2026年1月10日（土）
提案団体（日）	株式会社沖縄映像センター
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://ovic.co.jp/
研修員必要資格	特にありません。
研修員に必要な 実務経験年数	不問
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N4
英語能力（選択）	不問
研修目標	<ul style="list-style-type: none"> ●もの・事を「映像で記録する」撮影技法や計画の立て方を理解する。 ●映像制作にあたり、基本的な機材操作及び編集技術を習得する。 ●撮影計画に基づいた撮影・編集を実行することができる。 ●視聴者の視点に立った撮影計画を立案し、従業員に提案することができる。
期待される成果 （習得する技術）	<ol style="list-style-type: none"> ①映像制作に係る機材の扱い方 ②撮影するためのノウハウ、企画の立て方 ③基本的な編集技術
研修計画 （内容）	<ol style="list-style-type: none"> ①ディレクション・構成についての座学 ②現場体験（撮影現場・編集作業） ③実技（自らテーマを決めて、撮影編集を行う） ④発表 制作したコンテンツを発表し、集大成を披露する。
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	<p>当研修では研修員の段階的な学びをサポートする。 具体的には、撮影機材の基本的な扱い方から学びをスタートし、編集技術を習得し、最終的には実際に研修員が自身でテーマを選定して一つの作品を作り上げる。 一つの作品を完成させることは簡単な作業ではない。しかし、本研修を通して映像制作全体の能力を養い、帰国後の即戦力となることが期待できる。 また、作品を作ることができれば、それを基に情報発信を行うことができると考える。県系日系人の繋がりが希薄化する中、SNS等で良質な作品を発信できれば、県系コミュニティーの関係強化を図ることができると考える。 さらには、研修員が沖縄で修得した技術力をもって、沖縄で体験した文化活動や沖縄の風習を映像を通して自国のウチナーンチュココミュニティに伝えることで、その国のウチナーンチュココミュニティへの貢献へ繋がるのが期待できる。</p>
応募希望者への特記事項	宿舎はJICA沖縄を予定。立地設備等は紹介者に連絡します。